

12地協

No.3 中毛ブロック三地協

今月号より4回シリーズで各地協の独自の紹介を掲載します。第3回は中毛地協です。

前橋地協 maebashi

前橋地協は107組合19,403名で構成されています。「町の活性化」をめざす取り組みとして、前橋青年会議所・商工会議所青年部三団体・市役所とともに、群馬大橋ライトアップや広瀬川イルミネーション(写真右)を実施しています。この運動を展開していく上で、前橋街づくり協議会・前橋中心商店街共同組合・コムネットQ等の新たな団体との連携が進められています。



市の代表的なイベント「前橋祭り」。その中でも年々参加者を増やしている「だんべえ祭り」の実行委員会に加わり、昨年4月前橋だんべえ踊り協会の友好都市イタリア・オリビエート国際交流訪問団に代表を派遣しました。また、今年6月グリーンドームで開催した「だんべえフェスタ」(写真左)にも裏方で参加しています。



☆議長より一言

連合群馬の活動、地域独自の活動ともに皆で力を合わせて頑張っていますので、皆様のご協力をお願いします。

☆三役と職員

議長 木村 隆英 (日新電機労組)
副議長 角田 修一 (東電労組支店支部)
清水 端 (日本精工労組前橋支部)
松津 秀夫 (前橋市職労)
小野里照美 (JR東労組前橋支部)
事務局長 岩城 優 (NTT労組前橋分会)
書記 小林 弘美

☆機関紙:「リブレ」

(3000枚、単組・事業団体・組織内議員、隔月発行)

☆メール: rengo-m@sea.plala.or.jp

高崎地協 takasaki

みなさん、コンチハ!

レン・タカ(連・高)です。

まずは、当地協の組織概況から。86組合・組合員18,700名。図体の大きいのは、入院好きの事務局長と同じですが、それをカバーするのが、幹事会のメンバー。四役と幹事あわせて18名、昼夜を問わず、地協活動の前進にむけて頑張っています。

おもな活動状況は、政策制度要求の取り組みを柱に、高崎広域圏(1市4町村)における自治体・議員との関係強化。この数年はボランティアにも力を入れ、高崎市が行っている障害者・高齢者と市民の交流を目的にした「ふれあいの広場」などにも参加し、大きな期待が寄せられています。(たぶん・・・)

ただいま取り組み中!なのは、加盟組合の企業倒産・全員解雇に対する緊急支援活動。地区労福協と連携してカンパ活動を展開しています。ご協力を!!



▲ファミリーフェスタ



▲メーデー高崎駅前行動

☆議長より一言



働くものが気持ちよく働き、安心して住める地域を目指し、これからも元気に活動をしていきたいと思えます。近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。

☆三役と職員

議長 樋口 篤 (太陽誘電労組)
副議長 北原 康義 (NSKリフト労組)
桑子 英樹 (東電労組高崎支部)
松本 紀行 (JR東労組高崎支部)
事務局長 伊能 耕司 (NTT労組高崎分会)
書記 古島 りき

☆機関紙:「トライ」

(3000部、構成組織・関係団体・未加盟、隔月発行)

☆メール: rengo99@green.ocn.ne.jp

伊勢崎地協 isesaki

伊勢崎地協は伊勢崎佐波地区の51単組11,076名で構成され、議長をはじめ皆若く個性豊かなメンバーがいっぱいです。



地協活動の主な取り組みとして勤労者と家族を対象

にしたディズニー・バスツアーや女性のためのイベントとしてビーズクラフトや料理教室(写真右上)等を開



催しています。また、伊勢崎市との協賛による文化講演を開催し、政策制度要求(写真左下)やメーデー(写真中)と合わせて様々な角度から地域に根差す活動を展開しています。中毛ブロックとしては前橋・高崎両地協とともにトータルライフアップ等の学習会を開催し、地協間交流も図っています。

☆議長より一言

職場の組合員と一体となって、職場内の活動から地域における社会的役割を果たすための取り組みを積極的に行っていきます。

☆三役と職員

議長 松本 喜成 (サンデン労組)
副議長 秋山 幸弘 (東電労組伊勢崎支部)
島田 衛 (明星電気労組)
佐藤 裕幸 (エシージェット労組群馬支部)
事務局長 北嶋 謙一 (伊勢崎市職員労組)
書記 中沢 美貴